

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	好きを仕事にする	事務局	504
学校名	新庄市立 明倫学園	氏名	佐藤 遼汰朗

いつも見るバス。いつも乗るバス。ただお客さんを運んでくるものだと思っていた。2日間の路線研修を経て、運転士について、たくさん気付きがあった。運行前に車両点検を行うこと、こんな小さな行いがと思っていたけど、これを怠って危険なことが起きたらと考えると、とても大切な行いだと感じた。運転士は運転するだけではないと深く感じたのは、お客さんとの関わりだった。物を落としてしまった時の対応など、運転士1人で運転からトラブルの対応までを行う。このたくさんのお仕事をこなす姿はとてほかによく、安心して乗ることができた。3日目の整備体験では、バスの下部など、普段は見えないところを見たり、実際に仕事を体験してもらった。興味のあるバスのマークな姿に、とてもわくわくした。そんな整備作業も、ミスや欠陥があると事故につながりかねない。運転士も整備士もお客さんの命を預けているということ、この自覚を持って仕事に励むことが大切だと思った。山交バス株式会社には、ステップアップ制という仕組みがあることを知った。初めころからどんなバスでも運転できるのではなく、(入社1~2年)は路線バス、(2~4年)は高速バス(3~5年)で貸切バスなど、経験を積んで昇格できる制度だ。社員さんから、入社してから貸切バスに憧れて実績を積んでいくという話を聞いて、とてもロマンを感じた。この制度も事故防止、安全のためにあるのだと感じた。私はこの3日間、自分に悪い印象を持たないよう、あつ、話し方、態度を特に心がけた。出社1日時の終わりや最終日の感謝を伝える時、何かを教んでもらった時など、受け入れていた方がいい側として、やさしい態度を自分なりに心がけることができた。

私は、「好きを仕事にする」という言葉を大切にしている。
今回の職場体験を通して、好きを仕事にするには、ただ好きな気持ちだけでなく、その裏にある努力や責任を受け止める覚悟が必要だと感じた。自分の好きなことを仕事にできるのはとても魅力的だが、それを続けていくためにはプロとしての姿勢が求められる。今回学んだことを忘れず、好きなことを仕事にできるよう努力していきたい。